

# 令和3年度 事業計画書

(自令和3年4月1日～至令和4年3月31日)

公益財団法人全国学校農場協会

## 本年度基本方針

公益財団法人全国学校農場協会は設立以来、定款に定めた農業教育の振興と発展・充実を図ることを目的に事業を展開してきた。その基幹は人々の生命・健康・生活の根源である農業の持っている教育力であり、この農業教育の力を広く人々に発信し、日本農業の発展に寄与することを主たる目標としている。

近年、国民の農業への関心の高まりと共に、地域、ふるさと、コミュニティ等が見直され、農的な社会形成の機運や農村文化への志向が高まっている。

しかし一方では、科学技術の進展に伴って農業の軽量化・省力化が進められAIやロボット、ドローンなどの情報先端技術を駆使した農業が急速に普及し、人と自然との関わりが希薄になることが懸念されている。

このような現状を踏まえて当公益財団法人は、人間と自然との関わり合いを大切にしながら素晴らしい農村文化を継承し、将来の日本農業を教育的視点からリードして健全で豊かな社会形成構築に寄与する。

本事業年度は、前年度のコロナ禍の影響を踏まえつつ組織の一層の強化を推進し、事業の精選と充実・活性化を図って広く国民に農業及び農業教育の重要性と必要性を啓発する事業を推進するとともに発展著しい農業技術に対応した研修と普及を図る事業を併せて推進する。

## 本年度事業計画

当公益財団法人は、定款に定めた事業方針に基づき、本年度は以下の5事業を支柱として事業活動を推進するが、実施に当たっては、それぞれの事業の前事業年度の反省を踏まえて事業の運営・事業内容の評価・必要経費等を十分に検討した上で以下の事業に主力を置いて実施する。

- I 研究発表及び教育行政・農政・学術・学際的講演等による農業教育を推進する事業
- II 学術及び科学技術の推進と向上を目的とする事業
- III 農業教育・食料並びに環境・健康と安全教育に関するフォーラムやシンポジウムを開催（共催・後援・支援）する事業
- IV 図書・機関誌等の刊行と実験実習教具の提供を支援する事業
- V 地域文化（芸術・芸能・農村文化・文芸）振興を推進する事業

## 〔事業〕

### I 研究発表及び教育行政・農政・学術・学際的講演等による農業教育を推進する事業

#### 1、講演会の開催

広く国民に農業教育の推進と農業の果たす役割と理解の深化を図るために、全国高等学校農場協会と共催する全国大会・農業教育研究協議会・支部大会で研究発表並びに講演を実施する。この事業は一般の方たちの参加を促すため公開とする。本年度の実施は下記の通りである。

- ・全国大会（6月3日・4日）並びに農業教育研究協議会（12月2日・3日）・・・（東京開催）
- ・支部大会（全国8支部それぞれ函館市・八戸市・静岡市・富山市・蒲郡市・出雲市・徳島市・鹿児島市で開催）

#### 2、褒賞事業（農業教育功労者表彰）の実施

永年に亘って農業教育に携わり、農業教育の振興と普及に貢献した者を表彰規定に基づいて表彰する。

### II 学術及び科学技術の推進と向上を目的とする事業

#### 1、農業実験実習講習・教員免許状更新講習

本事業は、国民の健康を維持し、安全で安心な食糧を安定的に供給する農業を実現する農業教育を充実・発展させるために最新の学術・技術の習得・研究・研修を追求すると共に、その成果を日常の教育活動・農業実践の現場で発揮し、次代を担う若者の教育に生かすことを目的として実施する事業である。

尚、本講習は夏季休業中の5日間を充て、全て出席すれば修了証書が授与される。また、この期間の講習を受けることによって、教員免許状更新講習（選択領域18時間分）の履修が認められる。しかし、この場合の対象者は、農業科、家庭科、技術科、理科の中学・高校の教員及び栄養教諭である。

この事業は、当公益財団法人が全国の大学等に依頼して実施するもので、本年度の開催は以下の通りである。

（文部科学省教員免許状更新講習の認定月日：令和3年2月18日）

- ・北海道：農業と環境 帯広畜産大学 北海道帯広市 免許状更新講習
- ・東北：食品科学  
食品製造 弘前大学 青森県弘前市 免許状更新講習  
微生物利用

・関東：農業と環境	茨城大学	茨城県稲敷郡	免許状更新講習
・近東：農業と環境	岐阜大学	岐阜県岐阜市	免許状更新講習
・中国：農業と環境	島根大学	島根県松江市	免許状更新講習
・九州：農業と環境	九州沖縄農業 研究センター	福岡県久留米市	更新講習 なし

## 2、免許法（実習助手単位）認定講習

今年度も全国の農業関係高等学校に勤務する実習助手を対象として免許法認定講習を夏季休業中に実施する。開講大学は北海道酪農学園大学及び東京農業大学の2大学を予定している。

この講習は、当公益財団法人が前記2大学に開講の協力を要請し、文部科学省から開講大学への委託事業として実施するものである。

尚、講習期間、開講科目、受講申し込み方法や受付期間など、詳細については、開講大学のホームページで5月下旬に提示される実施要項を確認すること。

## 3、調査・研究活動

当公益財団法人では、農業並びに農業教育に関する領域を関連領域ごとに集約して下記の4系列部会に区分し、それぞれの部会ごとに課題を設定して継続的に調査・研究活動を行い、農業並びに農業教育の向上と振興・発展に努めている。

また、研究成果は当公益財団法人と全国高等学校農場協会とが共催する農業教育研究協議会（毎年12月開催）で2部会が口頭発表を行うとともに当該年度に口頭発表に順次ない2部会は誌上発表として研究集録に集約刊行して関係省庁をはじめ研究機関や教育機関、関係団体などへ広く配布する。

尚、令和3年度の口頭発表は園芸部門（生物生産系部会）と農業土木部門（環境系部会）である。

- 1) 畜産、園芸、農業機械・・・（生物生産系部会）
- 2) 森林・林業、農業土木, 造園 ・（環境系部会）
- 3) 食品、流通、生活・ヒューマン・・・（資源活用・ヒューマンサービス系部会）
- 4) 農場運営,栽培系学科,学校特色化（学校経営系部会）

## Ⅲ 農業教育・食料並びに環境・健康教育に関するフォーラムやシンポジウムの開催（共催・後援・支援）事業

広く地域の人々と共に農的生活の基盤である「人と自然との共生」を

テーマに農業並びに農業教育、環境及び食料・健康教育を推進するためにフォーラムや各種テーマによるシンポジウムを実施してきた。引き続き令和3年度においても下記のフォーラム並びにシンポジウムを実施する予定である。

#### 1、農業女子フォーラムの開催

- ・開催地区（支部）：九州地区（支部）
- ・開催県：福岡県
- ・参加対象者：九州地区農業高校生、九州各県農業大学校生、農業専攻科生、地域一般住民、農業経営者、農業従事者、その他
- ・開催期日：令和3年10月22日（金）
- ・開催会場：アクロス福岡、ソラリアプラザ
- ・内容：実践発表、ディスカッション、記念講演、参加者交流会他

#### 2、農業高校生による課題研究発表会とパネルディスカッションの開催（共催予定）

- ・実践総合農学会と連携して共催で実施する予定  
実践総合農学会が毎年開催している地方大会において、学会発表の一つとして、地域の農業高校生が取り組んでいる農業をテーマにした研究発表を加え、その内容を基に農業高校生も参加したディスカッションを行う形で実施する。
- ・開催地、開催日時等、具体的な内容は現在検討中。

#### 3、オープンディスカッションの開催（共催予定）

- ・農業高校支援機構と連携して共催で実施する予定  
広く一般の人々や地域住民を対象に自由参加として、日常生活に密着した農業や食料、環境や健康など身近なテーマを設定し、自由に意見交換を行う形式で実施する。
  - ・開催日時、開催会場、テーマ等詳細については現在検討中である。
- ※開催予定の事業2、及び3、については新事業年度早々に共催団体と協議し具体的な内容を決定する予定である。

### IV 図書並びに機関紙等の刊行事業

#### 1、「公益財団法人 全国学校農場協会新聞」の発行

当公益財団法人の事業や活動の状況、全国の農業や農業教育に関する

情報や生徒・教員の特色ある活動や取組み等に関する情報を収集し、広く農業や農業教育に携わる人々や関係機関・団体等に配布して情報を提供する。尚、発刊は年4回（1号～4号）の予定である。

## 2、研究集録の刊行

全国の農業関係高等学校を対象として、教育内容や教育実践、圃場の整備、実験実習施設・設備等の教育環境あるいは教育条件に係わる調査研究の成果、また支部大会や研究会・研修会で実施した講演会の要旨、フォーラムやシンポジウムの内容などを集約し、事業年度末に研究集録として刊行して配布し農業教育の理解の深化と普及・振興の一助とする。

## 3、「農業学習ノート」並びに「実習手帳」等の補助教材の研究開発と刊行

農業科目「農業と環境」の実習で扱う“トウモロコシ”“ダイコン”などの作目に対応した「農業学習ノート」等を発行して実習学習の成果を高めるための補助教材の研究開発を進める。また、「実習手帳」を発刊し実習教育の向上と充実を図る。

## 4、ホームページ内容の刷新・充実の推進

当公益財団法人の事業・活動状況や農業教育に関する実践や研究の成果、全国の農業高校の特色ある取組みや生徒の活動、また関係省庁からの補助事業の情報等をネットを通して広く普及するためホームページを刷新・充実して活用を図る。

# V 地域文化（芸術・芸能・文芸）振興を推進する事業

## 1、全国農業関係高等学校エッセイコンテストの実施

全国の農業系高等学校に学ぶ生徒を対象として、第13回エッセイコンテストを実施する。当事業は日本農民文学会との共催事業であり、応募作品は審査委員会で厳正に審査し、優秀作品は日本農民文学会機関誌「農民文学」及び農業教育新聞や地方新聞、当公益財団法人のホームページに掲載して広く公開する。尚、入賞の最優秀、優秀、佳作作品には賞状と副賞を贈呈する。

## 2、農業関係高等学校 農業・農村フォトコンテストの実施

全国の農業関係高等学校の生徒（生徒の部）並びに職員（職員の部）を対象として第7回農業・農村フォトコンテストを棚田学会との共催で実施する。このコンテストは、日本の農山村の持つ価値や素晴らしさを

多くの人々に知ってもらうこと、また、そこに生活する人々が、その地域の価値と特性や素晴らしさを再認識し自信と誇りを持って生活してもらうことを目的としている。

テーマは四季を通しての「わが農村の風景」、自慢したい「わが里山や棚田の風景」、「額に汗して働く姿のすばらしさ」、「農高生が真剣に学習に取り組む感動の姿」、「地域の芸能・文化・歴史を語る棚田や山村の風景」など農業・農村に関するものを想定している。応募作品はプロカメラマンを含めた審査委員会で厳重に審査し、入賞作品には賞状と副賞を贈呈するとともに棚田学会総会及び当協会ホームページで広く公開する。

## 【会 務】

### 1, 評議委員会及び理事会の開催

定時評議委員会	： 令和 3 年 5 月 21 日 (金)	14 : 00 ~ 16 : 45
1) 理 事 会	： 令和 3 年 5 月 7 日 (金)	14 : 00 ~ 16 : 45
	： 令和 3 年 8 月 20 日 (金)	14 : 00 ~ 16 : 45
	： 令和 3 年 11 月 4 日 (木)	14 : 00 ~ 16 : 45
	： 令和 4 年 2 月 4 日 (金)	14 : 00 ~ 16 : 45
2) 監 事 会	： 令和 3 年 5 月 7 日 (金)	10 : 00 ~ 12 : 00
	： 令和 3 年 8 月 20 日 (金)	10 : 00 ~ 12 : 00
	： 令和 3 年 11 月 4 日 (木)	10 : 00 ~ 12 : 00
	： 令和 4 年 2 月 4 日 (金)	10 : 00 ~ 12 : 00

尚、監事会（会計監査等）は毎回の理事会当日の午前中に実施

### 2, その他の諸会議開催（予定）

- 1) 農業教育功労者審査委員会 : 令和 3 年 6 月 17 日 (木) 9:00~
- 2) 研究局教育課程専門部委員会 : 令和 3 年 5 月 20 日 (木) 10:00~

以上、当公益財団法人全国学校農場協会は設立以来、組織の理念として、将来の我が国の農業並びに農業教育の振興発展と充実を図るためには、広く国民へ農業の果たす役割の重要性と将来の日本農業を担う人材の育成が極めて重要であると考えてきた。その実現に向けて本事業年度は、コロナによって前事業年度に導入できなかった新事業も含めて、前記 5 事業の実施展開によって全国での農業教育が意欲的・探究的に前進し、「国の基盤としての農業・農村」の役割の重要性と認識の深化、また、「農の生活がもたらす素晴らしさと心の豊かさ」をより広く、多くの人々に伝えることができるよう組織を挙げて全力を傾注する。

令和 3 年 3 月 26 日

以上